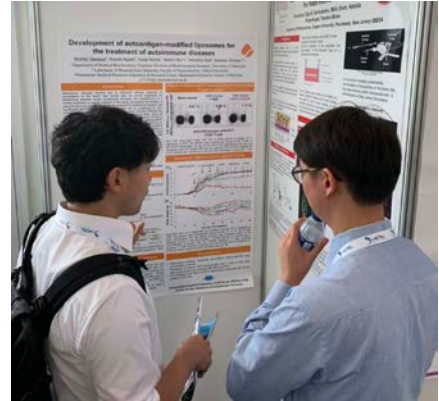


CRS にてポスター発表

2019年7月21日から24日にかけてスペイン・バレンシアにて開催された The 2019 Controlled Release Society Annual Meeting & Exposition でポスター発表を行いました。本学会では、薬物放出制御を中心に様々な分野の研究者の方々が参加しており、最新の知見に触れ、幅広い知識を得ることが出来ました。

私はリポソームを用いた自己免疫疾患治療に関する研究に従事しており、今回「Development of autoantigen-modified liposomes for the treatment of autoimmune diseases（自己免疫疾患治療を目的とした自己抗原修飾ナノ粒子の開発）」というポスター題目で研究成果を発表して



きました。本研究では、自己免疫疾患の原因となる免疫細胞を標的とした自己抗原修飾リポソームを作製し、その有用性について検討してきました。初の国際学会での発表ということもあり、適度な緊張感を持って発表に臨むことが出来たと思います。ポスター発表自体は練習通り行うことが出来、多くの方々に自分の研究内容を伝えることが出来たと思います。また日本国内の研究者だけでなく世界中の様々な分野の研究者と議論を交わすことで、自身の研究について考察するいい機会になったと思います。

今回の国際学会を通じ、英語で発表することや質疑応答することの難しさを感じ、改めて語学力向上の重要性を感じたのと同時に、世界中の研究者の方々とディスカッションを交わすことで、多くの刺激を受けることが出来ました。このような機会を頂けたことに深く感謝し、今回得た知識や経験を今後の研究に生かし、より一層邁進していきたいと思います。

薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 博士前期課程2年

医薬生命科学教室 高杉 昇平